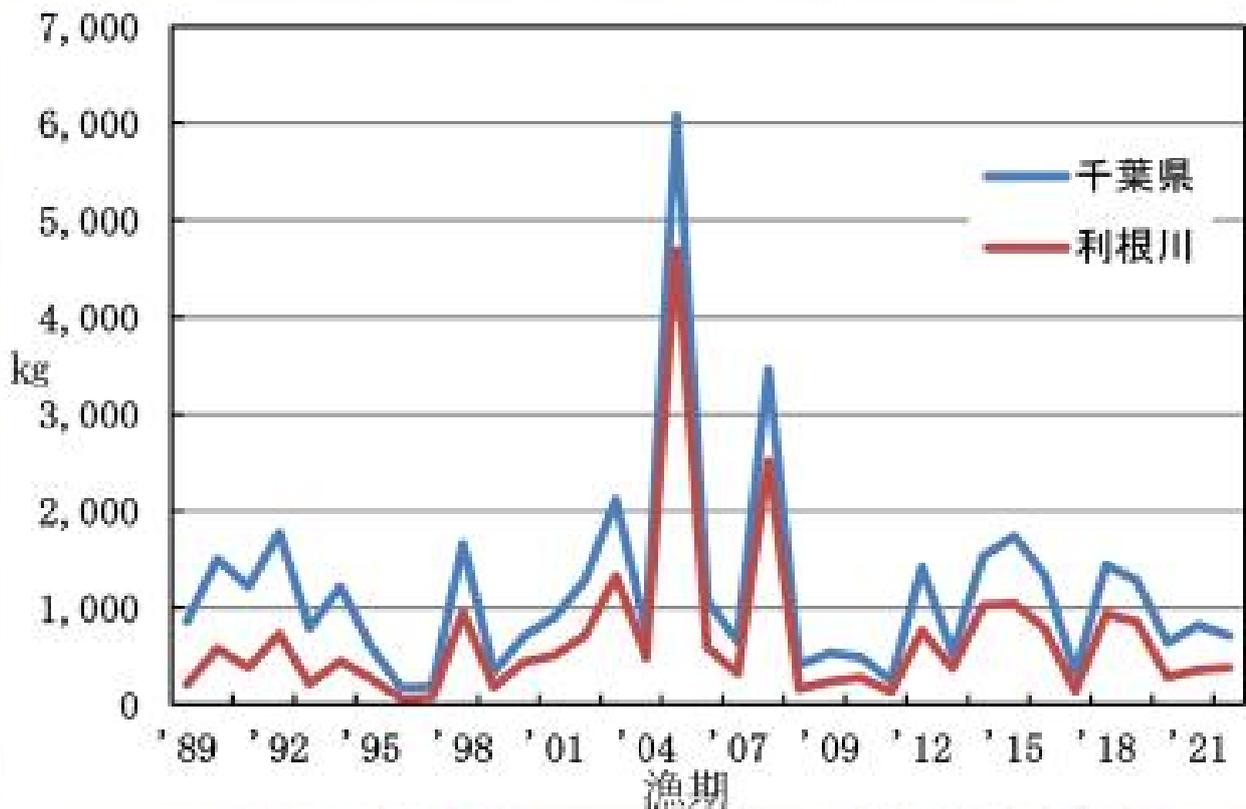


令和8年2月4日
千葉県内水面漁場管理委員会

利根川におけるシラスウナギの 来遊状況について

千葉県水産総合研究センター
内水面水産研究所

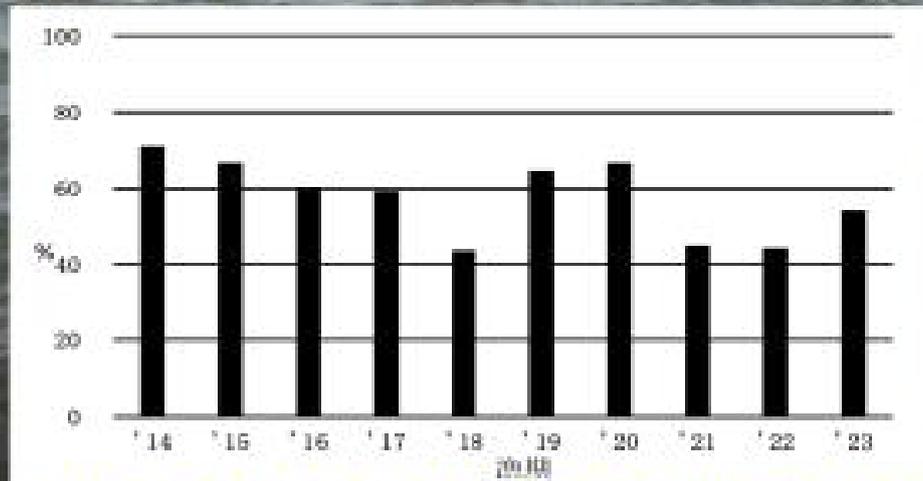
千葉県におけるシラスウナギの漁獲量



【背景】

- ・千葉県は全国的に主要なシラスウナギの産地
- ・近年(直近の10年)、利根川は千葉県内の漁獲量の4~7割を占める

⇒シラスウナギの来遊状況を把握するうえで重要な河川



県内漁獲量に占める利根川の割合

【目的】

- ・利根川のシラスウナギの来遊状況(時期・性状)を把握(国から委託)
- ・利根川河口堰 ⇒ 河口から18.5km上流に位置する



【方法】

利根川河口堰右岸魚道での採捕調査

- ・調査年 2013～2017年, 2022年以降
- ・調査頻度 2013～2017年
毎月2回(月齢0日, 15日の大潮)
2022以降
毎月1回(月齢0日の大潮)
- ・採捕されたシラスウナギは、全長・体長・体重・色素発育段階・肥満度を測定

【肥満度 = 体重(g) / 全長(cm)³ × 1,000】

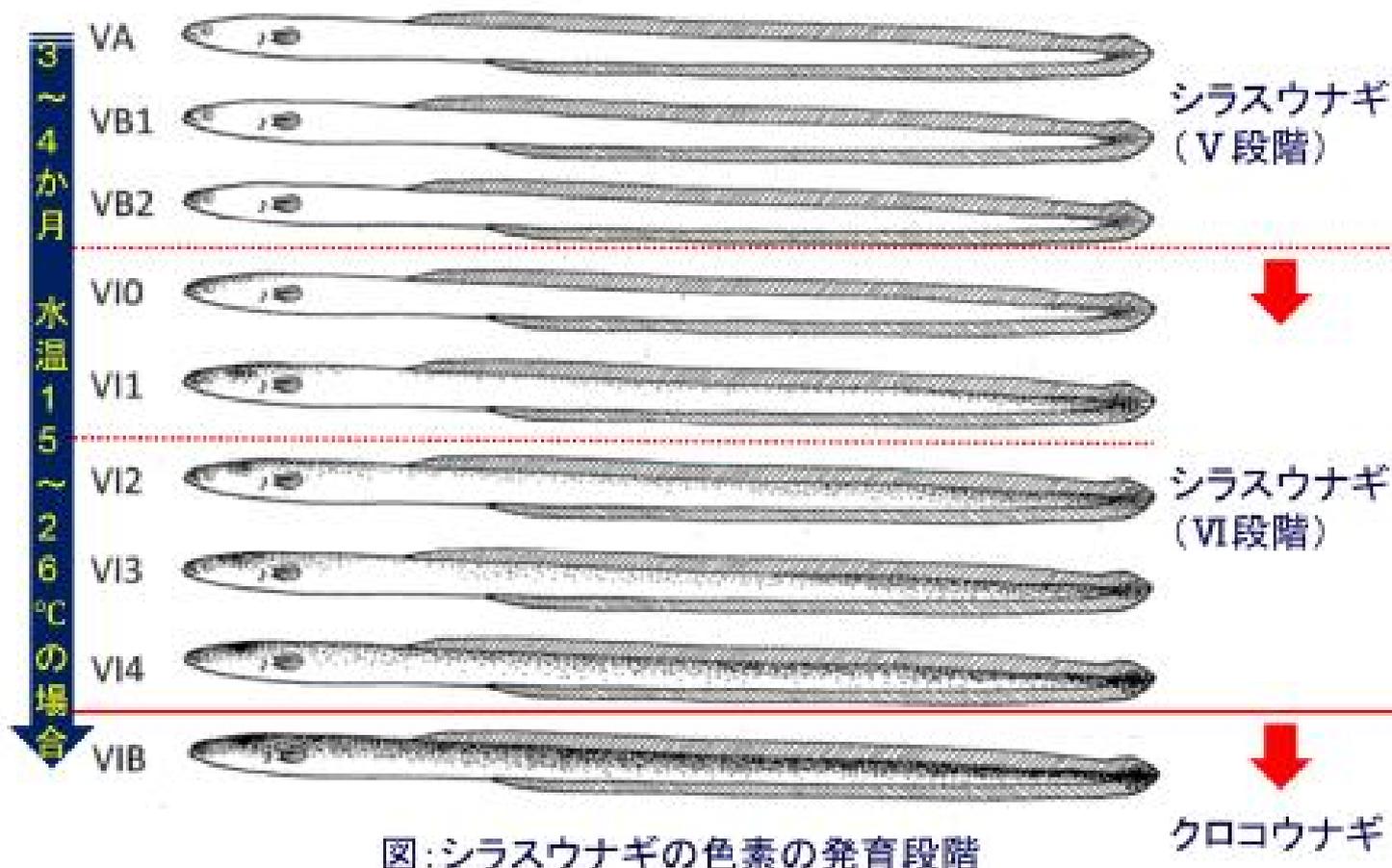


図:シラスウナギの色素の発育段階



利根川河口堰右岸魚道(多自然型魚道・コンクリート魚道)
 (○は袋網設置場所を示す。)



袖網部 : 3m
 目合い : 4mm



袋網部 : 3m
 目合い : 1.5mm

ふくろ網の構造

各魚道における袋網の設置状況



多自然型魚道



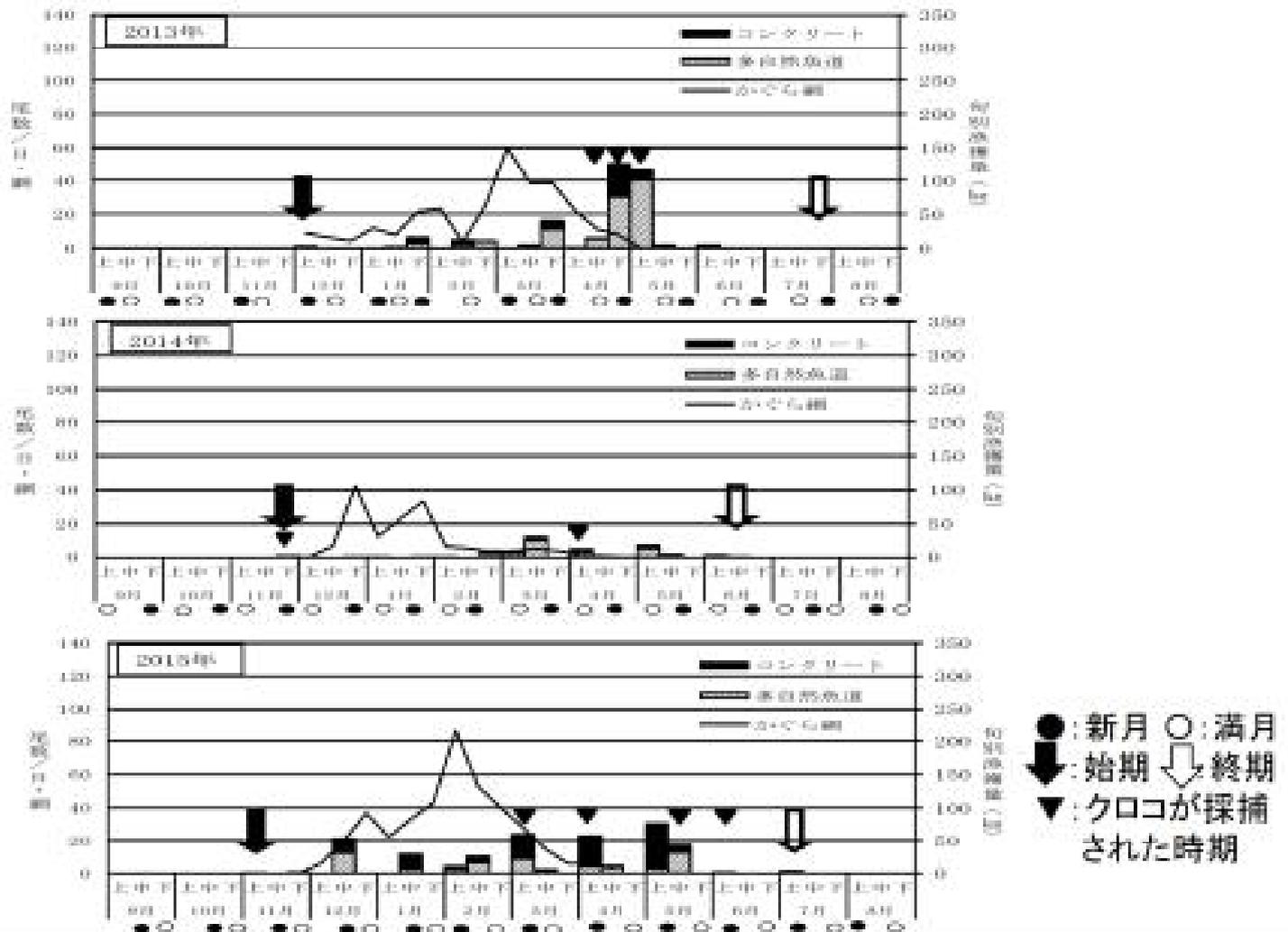
コンクリート魚道

【結果】

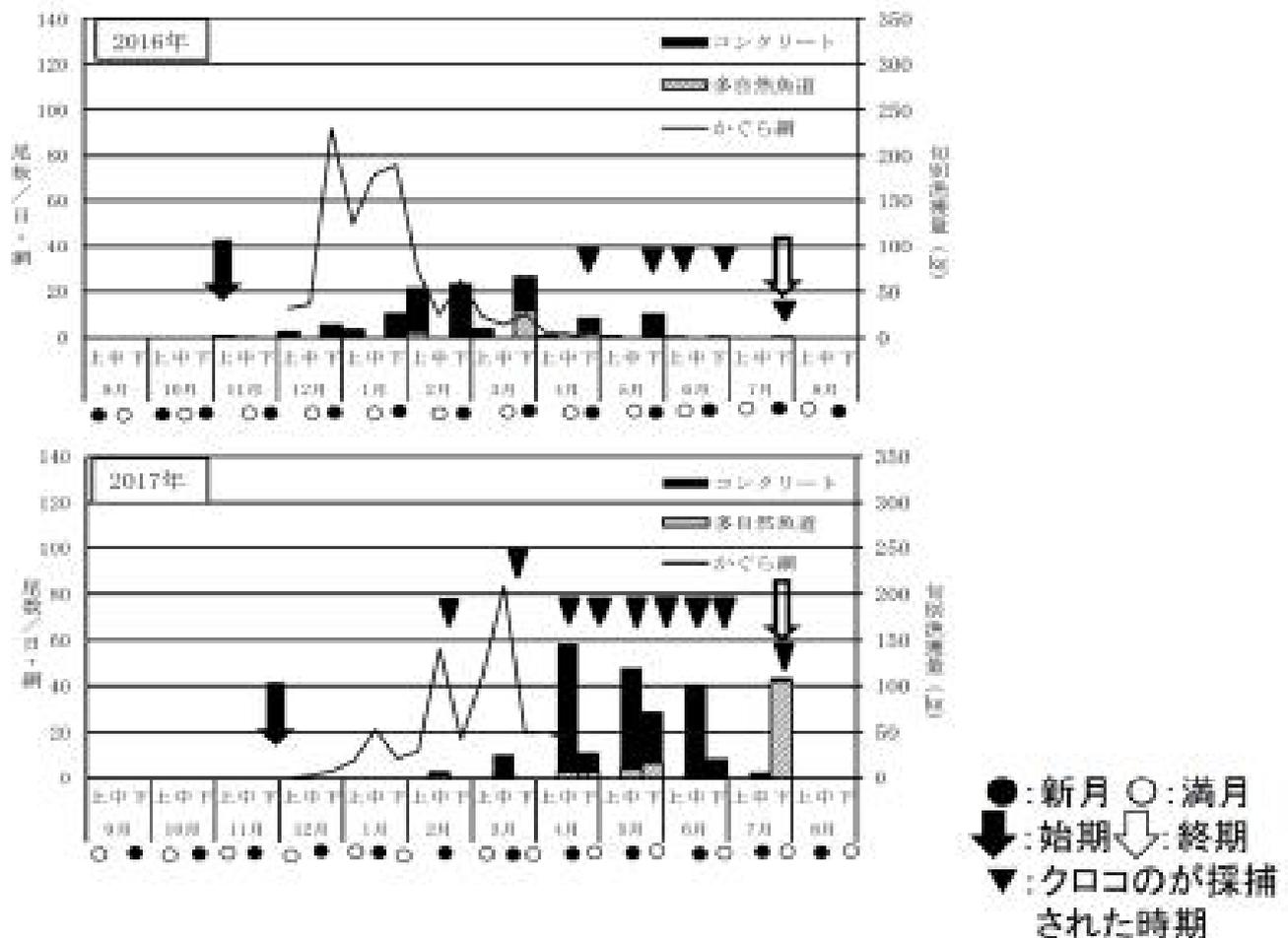


※袋網を揚げ、採捕物を仕分けしている様子

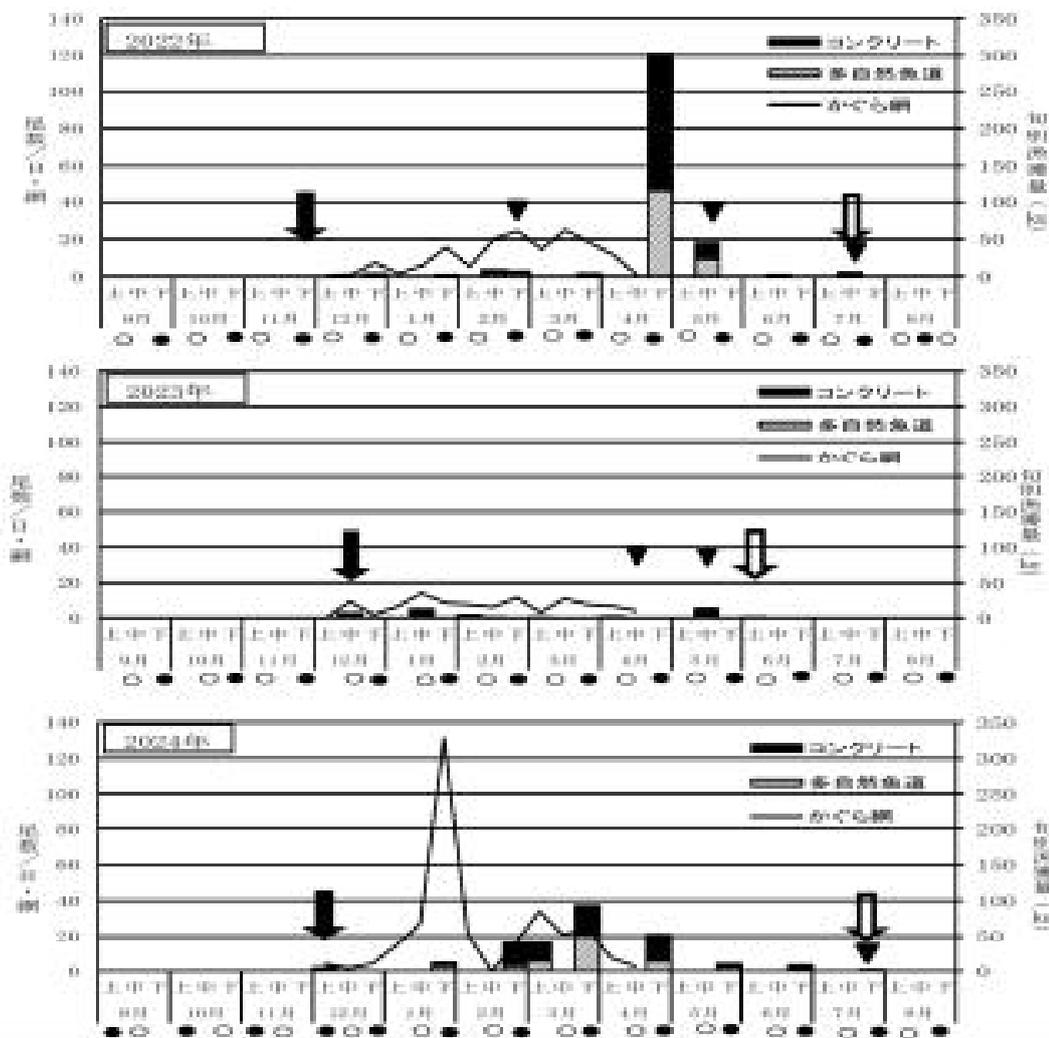
旬別のシラスウナギの採捕尾数及びかぐら網漁獲量 (2013~2015)



旬別のシラスウナギの採捕尾数及びかぐら網漁獲量 (2016・2017)



旬別のシラスウナギの採捕尾数及びかぐら網漁獲量（2022～2024）

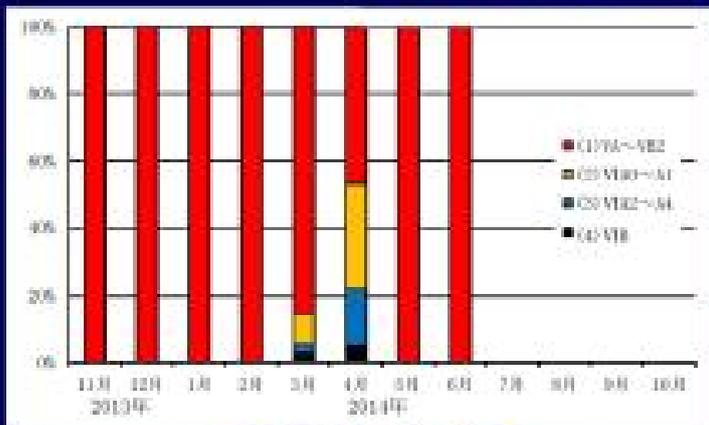


●:新月 ○:満月
 ↓:始期 ↓:終期
 ▼:クロコが採捕された時期

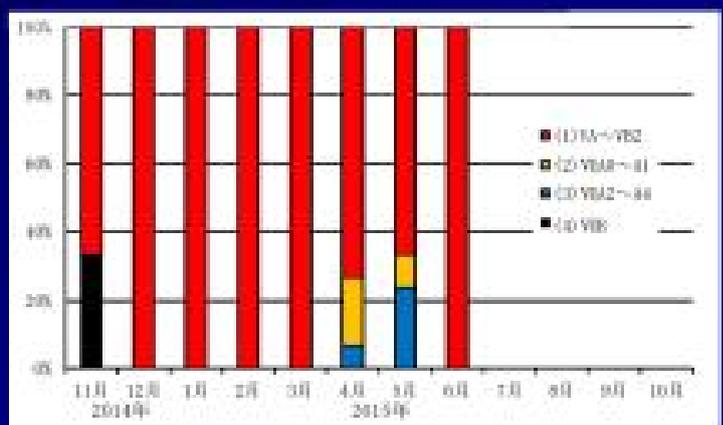
【まとめ】

・シラスウナギの来遊時期は年（漁期）により異なるが、長くて11月から翌年7月までである

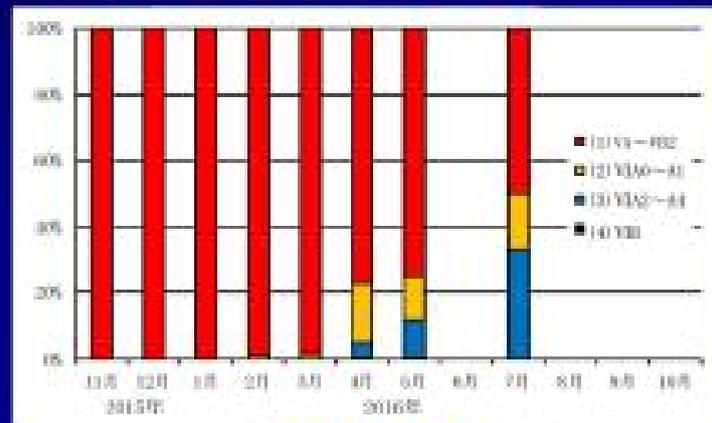
色素による発育段階の出現状況



2013年漁期

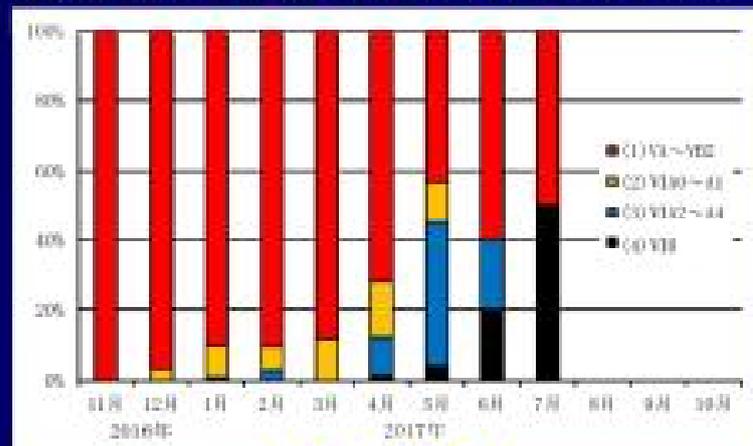


2014年漁期

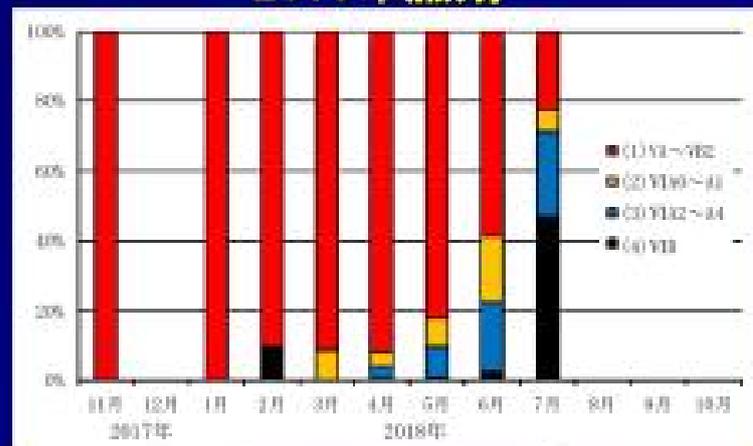


2015年漁期

色素による発育段階の出現状況

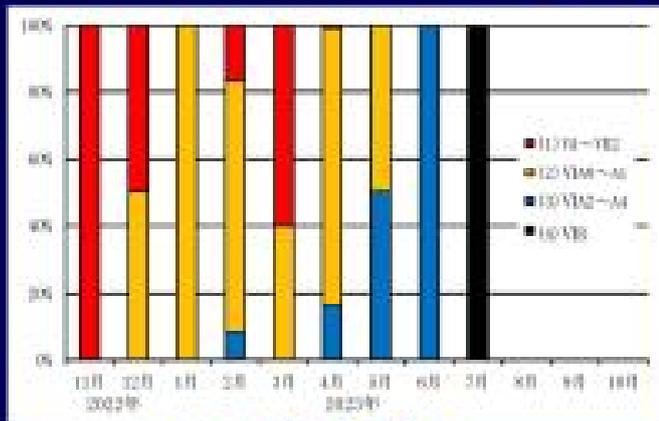


2016年漁期

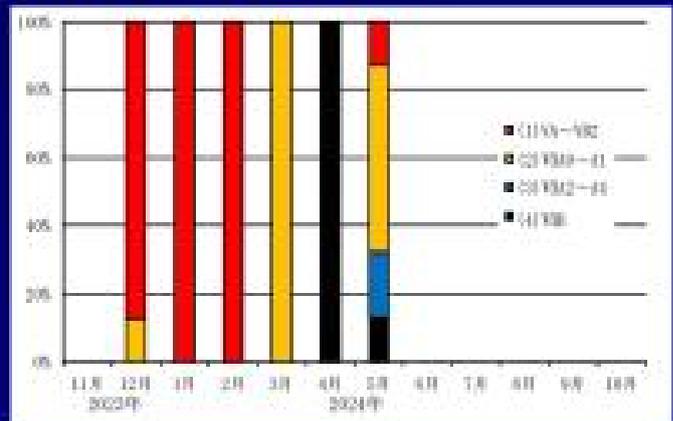


2017年漁期

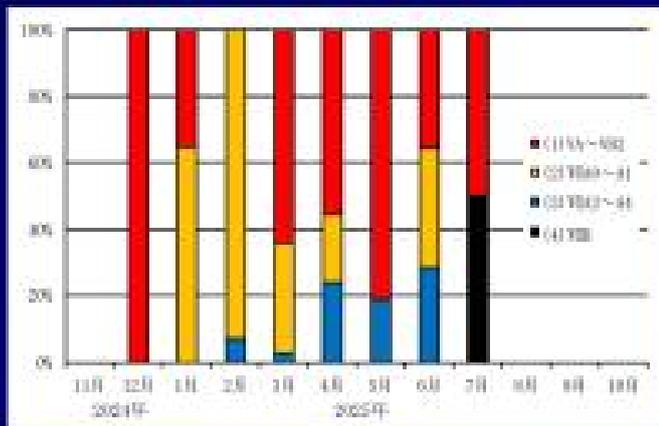
色素による発育段階の出現状況



2022年漁期



2023年漁期



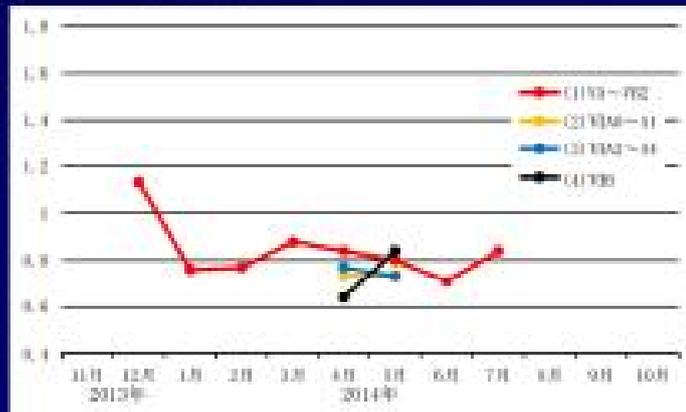
2024年漁期

- ・利根川河口に来遊するシラスウナギはV段階
- ・色素の発育段階から来遊時期を推定

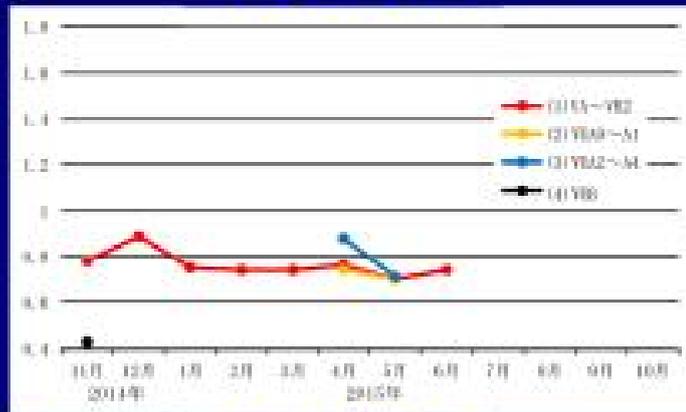
【まとめ】

- ・漁期後半になるにつれ、発育段階の進んだ個体の出現が多くなる

肥満度の推移 (2013~2014)

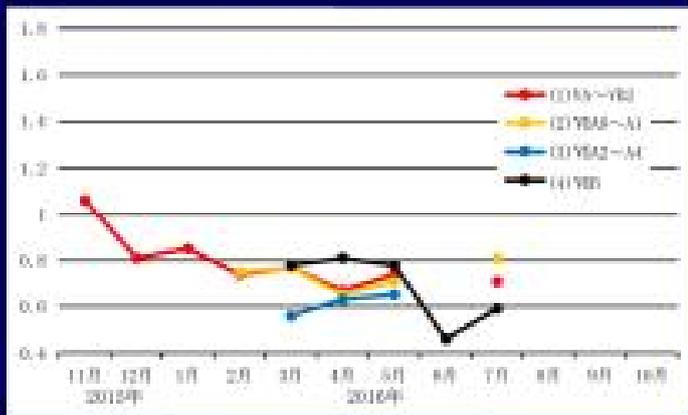


2013年漁期

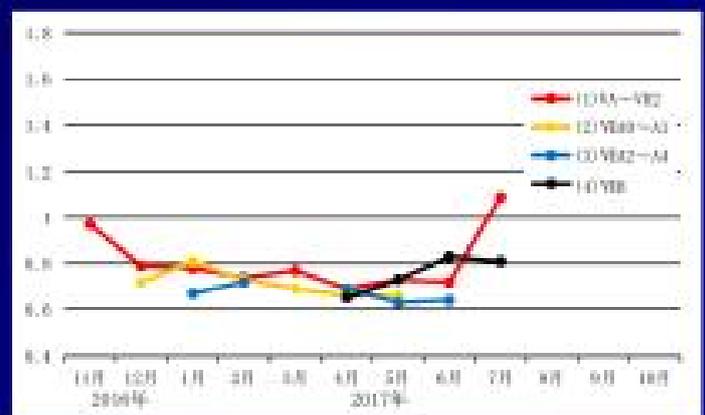


2014年漁期

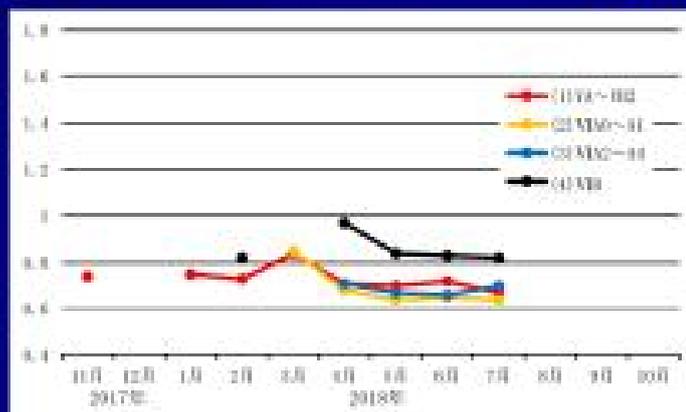
肥満度の推移 (2015~2017)



2015年漁期

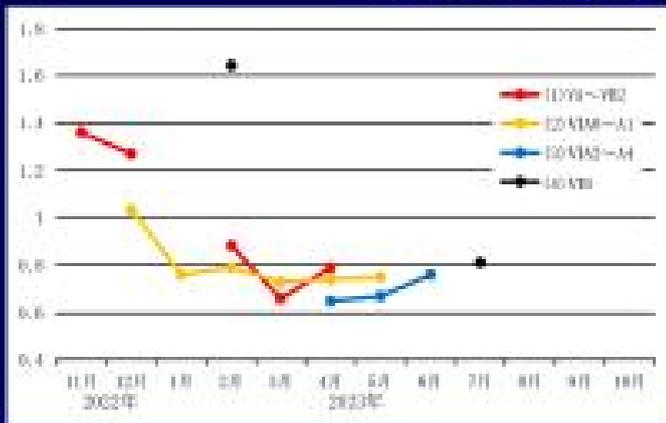


2016年漁期

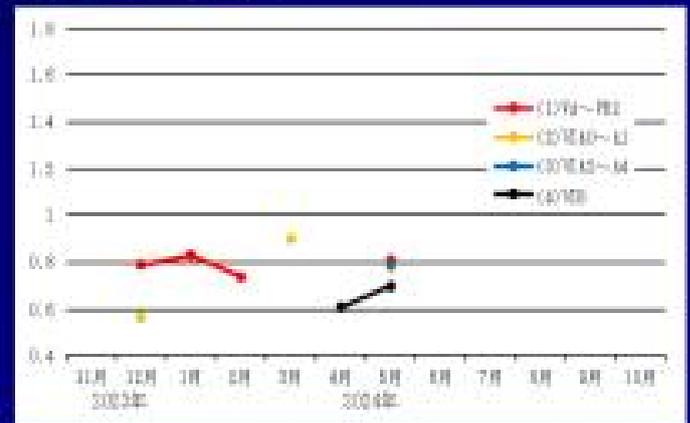


2017年漁期

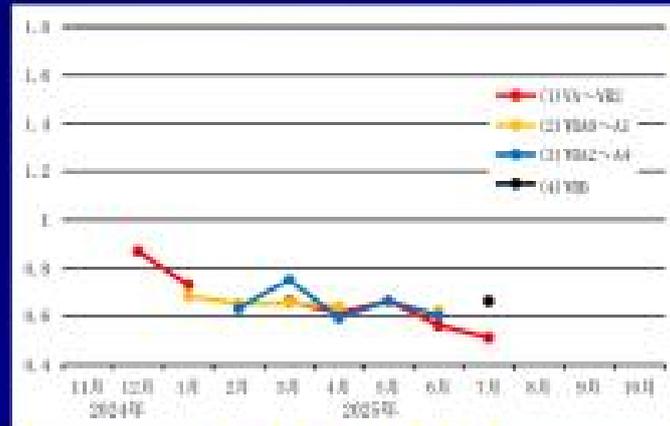
肥満度の推移 (2022~2024)



2022年漁期



2023年漁期



2024年漁期

【まとめ】

- ・肥満度は、漁期後半になるにつれ低下する傾向にある

【まとめ】

利根川河口堰右岸魚道での採捕調査

- ・シラスウナギの来遊時期は年（漁期）により異なるが、長くて11月から翌年7月までである
- ・漁期後半になるにつれ、発育段階の進んだ個体の出現が多くなる
- ・肥満度は、漁期後半になるにつれ低下する傾向にある

【今後の計画】

利根川河口堰右岸魚道での採捕調査

来遊状況をモニタリングするため、コンクリート・多自然型魚道での袋網による採捕調査を引き続き行う（周年）

